



砥粒加工学会 学会活性化フォーラム
in ABTEC2026

若手技術者・研究者に伝えたい

—砥粒加工学会とともに歩んだ 40 年の実践論—



企画:砥粒加工学会 若手の会「次世代ものづくり技術研究会(通称:山椒魚)」
砥粒加工学会 ABTEC2026 実行委員会

＜開催趣旨＞ 砥粒加工学会では、若手研究・技術者と学生が参加しやすい活発な学会にすること、また、学会を将来にわたって継続的に発展させることを目的として、学会活性化フォーラムを開催してきました。ABTEC2026 では若手の会(山椒魚)と ABTEC 実行委員会の共同企画として、神奈川大学客員教授 由井明紀先生の講演会を開催いたします。由井先生は、研削加工技術の向上ならびに研削盤の高性能化ならびに高度化に大きく寄与されてこられました。近年は砥石カバーの安全性能評価について、ISO に対して新規格を提案するなど、国内外で活躍されております。さらに、工作機械・生産加工分野に留まらず、海中ソーラ発電など、エネルギー分野にも研究分野を広げられました。



また、砥粒加工学会において理事を 8 年(副会長 4 年)、監事を 4 年務められるとともに、「研削・研磨盤の高度化専門委員会(GAP 専門委員会)」委員長、ハワイで開催された ISAAT2014 Symposium Chairman, 神奈川大学で開催された ABTEC2022 実行委員長など、多くの要職を歴任されてきました。現在は、個人事業者として YuiTech を立ち上げ、精密加工や水中ソーラ発電に関連する技術相談や日本工作機加工工業会での JIS 原案制定、そして若手研究者の育成に携わっています。

本講演では、由井先生がこれまで携わってこられた研究・開発の「気づき」と人との関わりについてご講演いただきます。講演後には、交流会を開催致します。積極的に活躍する若手研究・技術者と学生の参加を募ります。

講演後には、交流会を開催致します。積極的に活躍する若手研究者・技術者と学生の参加を募ります。

日 時：2026 年 8 月 31 日(月) 16:20～19:30 (砥粒加工学会 ABTEC2026 第 1 日目)(予定)

会 場：東北学院大学 五橋キャンパス D 室

内 容：

16:20～17:30 講演「若手技術者・研究者に伝えたい 砥粒加工とともに歩んだ 40 年の実践論」

神奈川大学 客員教授 由井明紀 先生

＜講演内容＞ 1986 年に砥粒加工研究会運営員に就任してから 40 年間、砥粒加工学会と共に歩んだ人生経験を振り返ります。多くの失敗と様々な発見そして物事を達成した大きな喜びを、将来の砥粒加工学会を支える若い皆様と分かち合いたいと思います。

18:00～19:30 交流会 (会場:レストラン&カフェ MEINA 〒984-0075 宮城県仙台市若林区清水小路 6-1 東日本不動産仙台ファーストビル 1F)

○交流会の参加費:1000 円(学生の方, 非会員の方も含め、一律料金です。飲み物(アルコール含む)、軽食を準備しています。)

○交流会の参加資格:実年齢が 40 歳以下、ならびに気持ち年齢が 40 歳以下(自称)の若手研究・技術者は大歓迎。ただし、実年齢が 40 歳以上の参加希望者は、40 歳以下の若手を積極的に引率してご参加願います。学生の参加也大歓迎です。

○参加申込方法:準備の都合がありますので、学会活性化フォーラムの交流会にご参加希望の方は、ABTEC2026 公式 WEB サイト(<https://www.scoop-japan.com/kaigi/abtec/>)から事前登録して下さい。